

「本を読み心の成長を」

中川正文さん(90) 京都府

財団法人大阪国際児童文学館特別顧問



文化は子どもの「心の栄養」です。子どもたちは本を通して成長します。本は「常に」大切な存在だと考えています。子どもたちのころ、自分の世界観を一番広げてくれたのは本でした。本には先生たちが教えてくれないことがたく

さん書かれてあったんです。中学の時に偶然書庫で見た文庫本からは大人の世界を垣間見ることができました。

本は一度読んで終わりではなく、読めば読むほど中身が理解でき深い関係を養っていきける面白いものです。

そんな本を何冊持っているかが、子どもたちが成長した時に大切な経験となっていくます。被災地の子どもた



ちには、本当に心の栄養となる本を届けたいです。気持ちに寄り添い、読んだ後に「よしやるぞっ」と勇気がわくような本を。そして、大人たちも子どもと一緒に一冊の本を読む経験を共有して成長してほしいと思っています。

【細川貴代】